

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月30日

上場会社名 株式会社 ユタカ技研

上場取引所 東

コード番号 7229 URL <http://www.yutakagiken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 稔

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大野 仁

TEL 053-433-4111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	141,914	13.2	7,918	37.1	8,188	38.5	4,878	54.0
25年3月期第3四半期	125,324	14.2	5,776	106.8	5,910	120.3	3,166	256.9

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 9,641百万円 (132.7%) 25年3月期第3四半期 4,143百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	329.20	—
25年3月期第3四半期	213.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	118,534	66,164	47.6	3,810.92
25年3月期	102,975	56,094	46.5	3,230.12

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 56,473百万円 25年3月期 47,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
26年3月期	—	19.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	194,000	15.8	10,400	51.9	10,800	43.5	5,400	38.6	364.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	14,820,000 株	25年3月期	14,820,000 株
26年3月期3Q	1,217 株	25年3月期	1,159 株
26年3月期3Q	14,818,814 株	25年3月期3Q	14,818,841 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安に伴う輸出の持ち直しや金融緩和等の政策を背景とした内需の増加により、回復基調を維持しております。海外においても、米国経済や欧州経済の持ち直しを背景に緩やかながら回復してきております。

このような環境のなか、当社グループは、国内市場における顧客からの受注減少や軽自動車の構成増加等による影響があったものの、海外市場における顧客からの受注増加や円安効果により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,419億1千4百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益79億1千8百万円（前年同期比37.1%増）、経常利益81億8千8百万円（前年同期比38.5%増）、四半期純利益48億7千8百万円（前年同期比54.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(日本)

円安効果に加え、費用削減施策を継続展開してまいりましたが、国内市場における顧客からの受注減少や軽自動車の構成増加等により、売上高530億6千1百万円（前年同期比8.8%減）、営業利益20億9千万円（前年同期比2.2%減）となりました。

(北米)

ユタカ・テクノロジーズ・デ・メキシコ・エス・エー・デ・シー・ブイの立ち上げ費用の発生がありましたが、米国経済の回復に伴う顧客からの受注増加に加え、円安効果もあり、売上高600億5千4百万円（前年同期比30.6%増）、営業利益4億2千8百万円（前年同期比41.1%増）となりました。

(アジア)

タイ洪水影響からの回復やインドネシア二輪市場における顧客からの受注増加に加え、円安効果もあり、売上高181億5百万円（前年同期比44.2%増）、営業利益24億4千8百万円（前年同期比99.2%増）となりました。

(中国)

昨年後半の日中関係悪化に伴う販売低迷からの回復もありましたが、主には円安効果により、売上高221億2千4百万円（前年同期比24.7%増）、営業利益29億1千2百万円（前年同期比50.9%増）となりました。

(その他)

顧客からの受注がブラジルにおいては増加したものの、英国においては減少したことにより、売上高54億6千5百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益2億1千4百万円（前年同期比18.9%減）となりました。

(注) 上記に記載しているセグメント別の売上高は、外部顧客への売上高とセグメント間の内部売上高又は振替高の合計であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、設備投資に伴い有形固定資産が増加しましたが、主には円安による為替の換算差で外貨建て資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ155億5千8百万円増加し、1,185億3千4百万円となりました。

また、負債につきましても、支払手形及び買掛金や長期借入金が増加しましたが、総資産と同様、外貨建て負債が為替の換算差で増加したことにより、前連結会計年度末に比べ54億8千8百万円増加し、523億6千9百万円となりました。

純資産も、利益剰余金の増加に加え、為替換算調整勘定が増加（マイナス値が減少）したことにより、前連結会計年度末に比べ100億7千万円増加し、661億6千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年7月26日に「業績予想の修正に関するお知らせ」及び「平成26年3月期第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、連結子会社であるワイエス・テック（タイランド）カンパニー・リミテッド及びユタカ・ド・ブラジル・リミターダは、決算日を12月31日から3月31日に変更しております。この変更に伴う平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3ヶ月間の損益については、利益剰余金に計上しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,545	21,297
受取手形及び売掛金	20,135	20,706
製品	2,755	3,394
仕掛品	2,152	3,533
原材料及び貯蔵品	13,125	12,585
繰延税金資産	1,278	1,293
その他	3,152	2,942
流動資産合計	58,145	65,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,086	28,246
減価償却累計額	△12,902	△13,808
減損損失累計額	△177	△199
建物及び構築物（純額）	12,006	14,238
機械装置及び運搬具	70,512	80,154
減価償却累計額	△54,076	△59,848
減損損失累計額	△14	△15
機械装置及び運搬具（純額）	16,421	20,289
工具、器具及び備品	19,266	20,600
減価償却累計額	△18,482	△19,148
工具、器具及び備品（純額）	784	1,451
土地	6,797	7,303
リース資産	316	294
減価償却累計額	△120	△133
リース資産（純額）	196	160
建設仮勘定	4,590	5,123
有形固定資産合計	40,796	48,567
無形固定資産		
投資その他の資産	426	381
投資有価証券	67	65
長期貸付金	27	32
長期前払費用	519	540
繰延税金資産	597	694
その他	2,420	2,523
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	3,607	3,831
固定資産合計	44,830	52,780
資産合計	102,975	118,534

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,276	20,539
短期借入金	10,112	10,769
リース債務	78	70
未払法人税等	1,191	870
賞与引当金	1,418	919
その他	5,962	5,133
流動負債合計	36,040	38,303
固定負債		
長期借入金	8,509	11,147
リース債務	139	103
繰延税金負債	673	1,318
退職給付引当金	1,128	1,213
役員退職慰労引当金	74	86
その他	315	196
固定負債合計	10,840	14,065
負債合計	46,881	52,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,754	1,754
資本剰余金	565	565
利益剰余金	51,088	56,321
自己株式	△1	△1
株主資本合計	53,406	58,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△5
為替換算調整勘定	△5,535	△2,161
その他の包括利益累計額合計	△5,540	△2,166
少数株主持分	8,228	9,691
純資産合計	56,094	66,164
負債純資産合計	102,975	118,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	125,324	141,914
売上原価	110,163	122,548
売上総利益	15,161	19,365
販売費及び一般管理費	9,385	11,446
営業利益	5,776	7,918
営業外収益		
受取利息	108	129
負ののれん償却額	81	—
為替差益	149	539
その他	172	42
営業外収益合計	511	712
営業外費用		
支払利息	267	356
その他	109	85
営業外費用合計	376	442
経常利益	5,910	8,188
特別利益		
固定資産売却益	52	32
特別利益合計	52	32
特別損失		
固定資産廃棄損	82	28
固定資産売却損	5	3
減損損失	122	—
特別退職金	55	44
訴訟関連損失	179	—
特別損失合計	446	76
税金等調整前四半期純利益	5,516	8,144
法人税等	1,580	2,217
少数株主損益調整前四半期純利益	3,936	5,926
少数株主利益	769	1,048
四半期純利益	3,166	4,878

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,936	5,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	208	3,715
その他の包括利益合計	207	3,714
四半期包括利益	4,143	9,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,414	8,252
少数株主に係る四半期包括利益	729	1,388

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	中国	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高								
(1)外部顧客への売上高	44,809	45,628	11,823	17,595	5,467	125,324	—	125,324
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,372	344	735	140	0	14,593	△14,593	—
計	58,182	45,972	12,559	17,736	5,467	139,918	△14,593	125,324
セグメント利益	2,138	303	1,228	1,930	263	5,864	△88	5,776

(注) 1. 「その他」の区分は、英国及びブラジルの現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△88百万円は、セグメント間取引消去△88百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	中国	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高								
(1)外部顧客への売上高	37,486	59,706	17,304	21,965	5,451	141,914	—	141,914
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,574	348	801	158	14	16,897	△16,897	—
計	53,061	60,054	18,105	22,124	5,465	158,811	△16,897	141,914
セグメント利益	2,090	428	2,448	2,912	214	8,093	△175	7,918

(注) 1. 「その他」の区分は、英国及びブラジルの現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△175百万円は、セグメント間取引消去△175百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。